

3 信号線の接続

- 人感センサ信号線の被覆を表示ラベルのストリップゲージに合わせてむいてください (9mm)。
- 人感センサ信号線を下図にしたがってセンサ信号端子穴へ確実に差し込んでください。



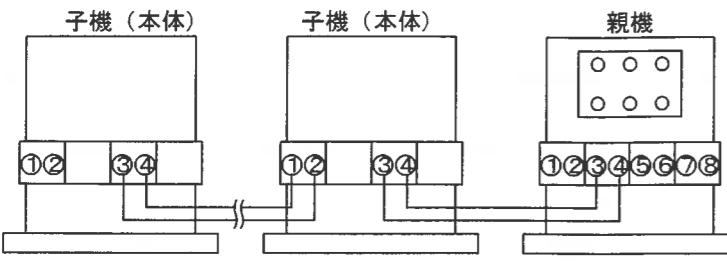
接続が不完全な場合は接触不良による発熱、火災、感電の原因となります。

- 信号線をはずすときは親機の電源を切ってからマイナスドライバーをリリースボタンに差し込んで、信号線を引き抜いてください。



感電の原因になります。信号線をはずすときは必ず親機の電源を切ってください。

<接続例>

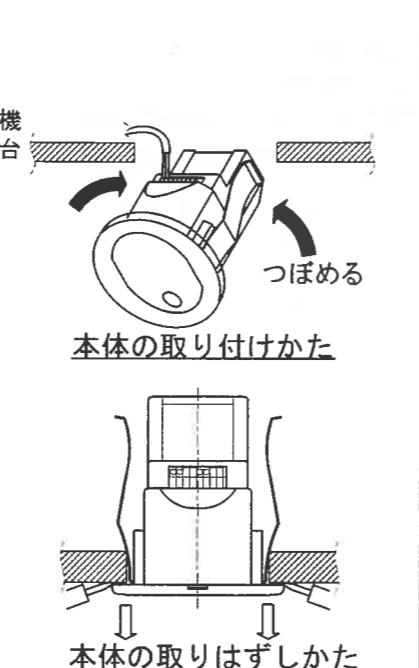
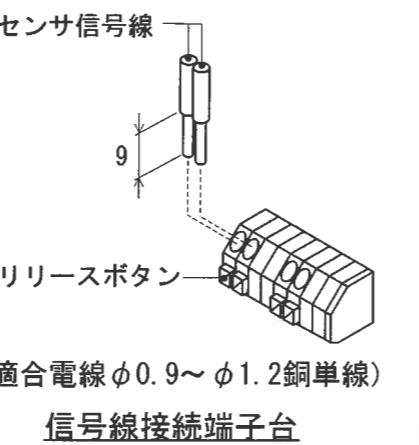


4 本体の取り付け

- 本体を端子台側から埋込穴に挿入し、取付ばね（2ヶ所）をつぼめて埋込穴に引っ掛けしてください。
- ゆっくり本体を押しあげて、確実に取り付けてください。

5 本体の取りはずしかた

- 本体はずし溝にマイナスドライバーを両側から差し込んでください。
- 図の矢印方向に引きだし、天井と本体に隙間ができたら、取付ばねを押さえながら本体を引き出してください。



<無償修理規定>

1. 保証期間内に故障して、無償修理をご依頼の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

2. 無償保証期間および範囲

●据付けた当日を含めた1年間としますが無償にて支給、修理するのは、故障した部品または当社が交換を認めたユニットに限ります。

ただし、3項に記載する使用方法による損傷や故障については、保証期間中であっても支給、修理は有償となります。

●無償保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店に相談してください。

●修理などのアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

3. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。

(a)仕様範囲外で使用したことによる事故、損傷や故障の場合。

(b)改造した場合。

(c)操作方法が不備なことによる事故、損傷や故障の場合。

(d)火災、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による事故、損傷や故障の場合。

(e)本機事故に起因した営業保証等の2次保証はいたしません。

(f)その他、据付け、操作、調整、保守、取扱上常識となっている内容を逸脱した使用での事故、損傷や故障の場合は保証できません。

4. 本製品は日本国内専用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

No servicing is available outside of Japan.

5. この保証内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

三菱電機株式会社
連絡先 **三菱電機照明株式会社**

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-4 O
TEL (0467) 41-2729 (営業統轄部)
TEL (0467) 41-2773 (品質保証部サービス課)

MITSUBISHI

三菱照明制御器

人感センサ子機

形名 MS1904A

保管用

E7622297

取扱説明書

このたびは三菱照明制御器をお買い上げいただきありがとうございました。

この取扱説明書は三菱照明制御器「人感センサ子機」の取扱いについて記載しております。

よくお読みのうえ、正しくお使いください。

●据付工事は、「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。

●お読みになった後は、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。

●お使いになる方は、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事される方に、またお使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

●本機単体でのご使用はできません。適合する親機(別売)と組み合わせてご使用ください。

1 安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を表示の意味は表中で説明しています。



■ 注意 ■ 警告 の表示で区分して説明しています。



誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつくもの。

改造、修理は絶対しない。

(改造したり、修理に不備があると、感電、火災等の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。)

据付けは重量に十分に耐える所に確実に行う。
(強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。)

本機のすき間や穴に金属類を差し込まない。

(感電、火災等の原因になります。)

据付工事は、この取扱説明書に従い確実に行う。
(据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。)

親機の電源を入れたまま本機のお手入れをしない。

(感電の原因になります。)

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び本説明書に従い施工する。
(電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。)

本機を布や紙など燃えやすい物で覆ったり、かぶせたりして使用しない。(火災の原因になります。)

本機を布や紙など燃えやすい物で覆ったり、かぶせたりして使用しない。(火災の原因になります。)

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

(お客様自身で据付工事をされ、不備があると感電、火災等の原因になります。)

信号線接続は [7 取付け方法] の [3 信号線の接続] に従って確実に行う。(接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因になります。)



誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財等の損害に結びつくもの。

端子台に<AC100V 等>の電源線を接続しない。

(感電、火災等の原因になることがあります。)

濡れた手で本体や端子台をさわらない。

(感電、故障の原因になることがあります。)

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付ない。

(瓦斯が漏れて本機の周囲に溜まると発火の原因になることがあります。)

乾燥不十分なクロス貼り、コンクリート面には据付ない。
(絶縁不良やさびにより感電、落下の原因になります。)

屋内専用です。5°C～35°Cの範囲で使用するよう設計しています。(高温で使用しますと火災の原因になります。屋外や湿気、水気のある場所で使用しますと、湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因になります。)

表示された電源電圧(定格電圧±6%以内)以外の電圧で使用しない。(間違って使用しますと火災の原因になります。)

清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で浸したやわらかい布をよく絞ってから拭く。

金属部分をクレンザーやたわしでみがかない。

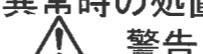
(傷つけたり腐食の原因になります。)

洗剤、薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしない。
(破損、落下、感電の原因になります。)

平均的な寿命の目安は、使用条件、環境により異なりますが約10年です。

(定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。)

異常時の処置



煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源を切る。
(火災、感電の原因になります。)

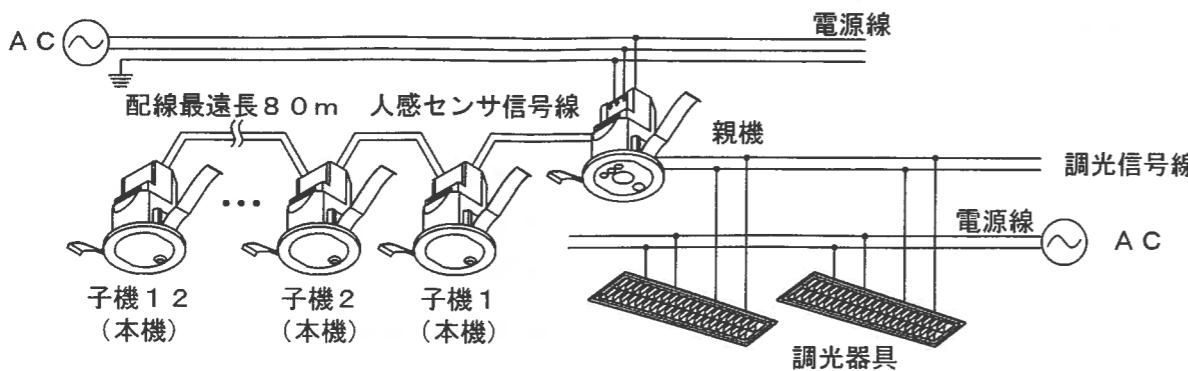
煙が出なくなるのを確認して、お買い上げの販売店にご相談ください。



ラジオ、ワイヤレス方式の機器はなるべく本機から離してご使用ください。
雑音が入る場合があります。

2 システムの構成

1 システム構成図



2 適合親機

メルセーブN E T調光コントローラ (MS1801A, MS1802A)

上記親機に本機を12台まで接続できます。

3 適合電線

線種	配線最遠長	極性
φ0.9~φ1.2の单銅線 (CPEV) 又は警報用電線 (AE線) など	80m以下	なし

- (1) 弱電流配線工事が必要です。
- (2) センサ信号端子はφ0.9~φ1.2用連結端子を採用しています。
- (3) 人感センサ信号線は親機より配線最遠長で80m以下としてください。

※人感センサ信号線は、電源線と束ねないでください。誤動作の原因になります。

※親機への接続時、他の信号線または他の接続端子と間違わないように接続してください。
(誤配線しますと機器の故障の原因となります)

3 センサに関する注意事項

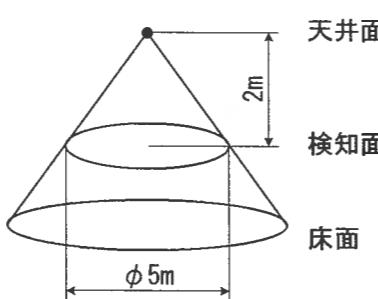
- (1) 人感センサは感熱形のため、夏期などの周囲温度が体温に近い温度の場合は、人感センサの感度が鈍くなる場合があります。前記の場合は、エアコンによって周囲温度を調節してください。
- (2) 人感センサは人の動きを検出します。検知エリア内にいても長時間動作がない場合、またはわずかな動きの場合は検出できないことがあります。
最大70cmの動きがないと検知できない場合があります。
- (3) 人感センサのレンズ部分は乾いた布でこまめに清掃し、清潔にしてください。

4 調光コントローラ設置の注意事項

1 検知範囲

注) 調光コントローラの取り付けが斜めに傾くと
検知範囲も斜めになりますのでご注意ください。

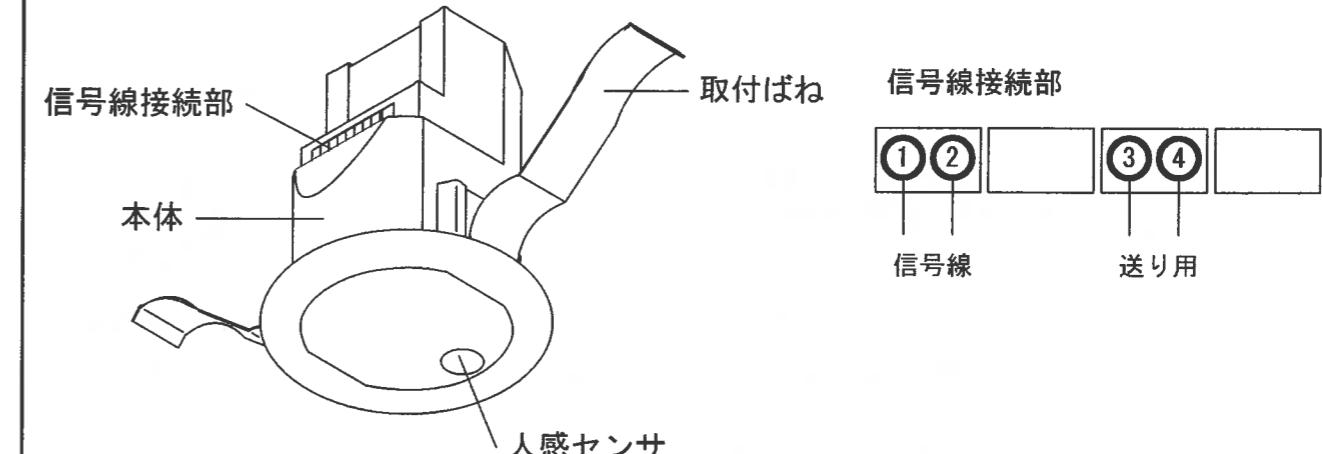
- (1) センサは円錐形の内部を検知します。
- (2) 高さ2mで直径約5mの範囲を検知します。
- (3) 70cm以上の動きを検出します。



2 注意事項

1. 本機に使用している人感センサは赤外線（熱）を検知します。
誤動作の原因となりますので、「①センサ検知エリア内に空調の吹き出し口がはいる位置」「②センサに直接風が当たるような位置」などへの設置は避けてください。
2. 人感センサは赤外線の変化を検出するため、人以外の熱源がエリアを横切ると同様に検知します。人体と同じ程度の温度の物が移動する環境下でのご使用は避けてください。
3. エリア内にパーテーション等の障害物を設置された場合、センサの反対側は検出できません。パーテーションを設置する場合は、本機 (MS1904A) をもう1台増設してください。
4. 入口に扉などのない部屋で使用する場合には、外の通路を通る人を検知しないような位置に設置してください。

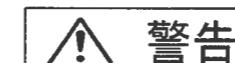
5 各部の名称



6 取付け方法

1 取り付け前の確認

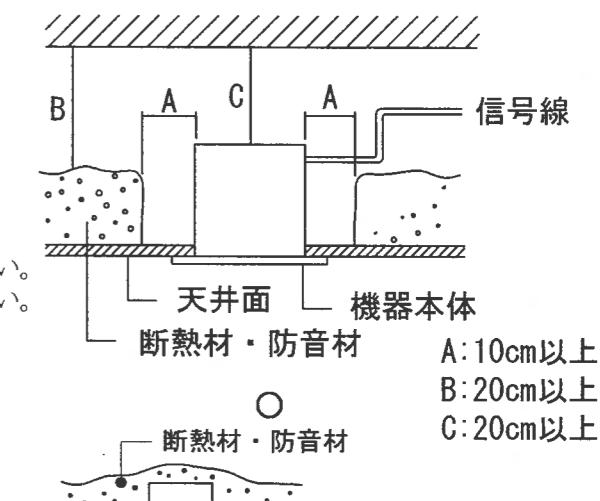
取り付け前に器具重量 0.2kg に十分に耐えるよう、天井取り付け部の強度を確保してください。
ロックワールなどやわらかい天井に取り付ける場合は、補強材を入れて取り付けてください。



警告 天井強度に不備がありますと落下の原因となります。

断熱材・防音材の施工法

- 断熱材・防音材をご使用の際は右図のように施工してください。
 - (1) 機器から断熱材・防音材の距離を10cm以上離してください。(断熱施工はできません。)
 - (2) 電気配線は断熱材・防音材の上側に配線してください。
 - (3) 断熱材・防音材で本体の周囲をふさがないでください。
 - (4) 断熱材・防音材の上部は最低20cmの空間が必要です。
- 機器本体に信号線を接触させないでください。



2 埋込穴の開口

天井に埋込穴 $\phi 75 \pm 2$ をあけてください。
※取付可能な天井厚さは 5~23mm です。

埋込穴寸法

